

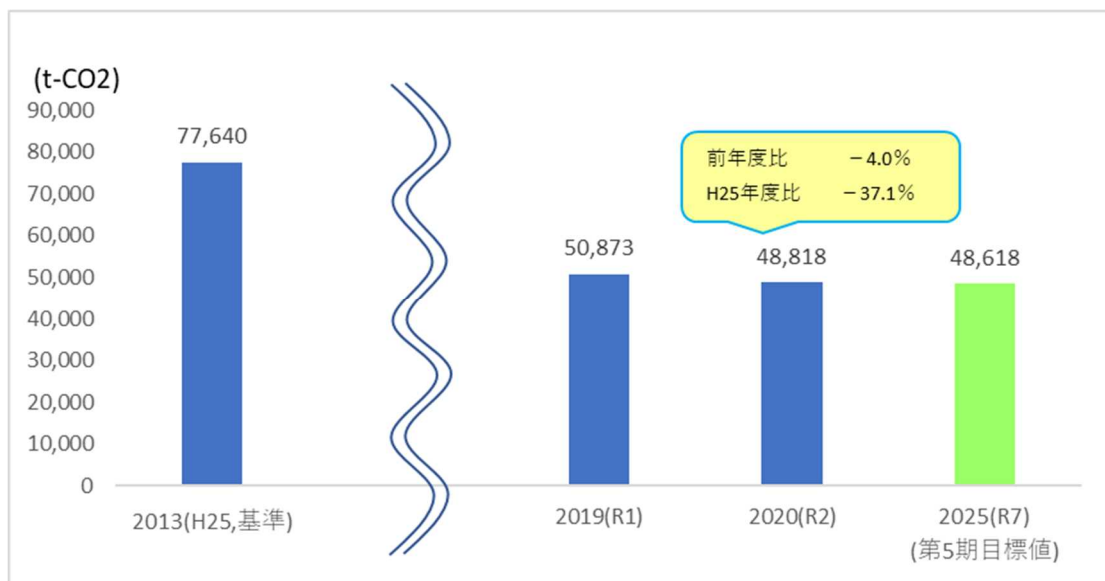
## 県庁の温室効果ガス排出量の状況（令和2年度）

令和3年10月20日  
環境森林課

### 1 温室効果ガス排出量の状況

- 令和2年度の温室効果ガス排出量は48,818 t-CO<sub>2</sub>でした。
- 前年度比で4.0%の減少、平成25年度(基準年)比では37.1%の減少となりました。
- 温室効果ガス排出量が前年度比で減少した主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設などの休業に伴う二酸化炭素排出量が減少したことだと考えられます。
- 現在の第5期宮崎県庁地球温暖化対策実行計画では、令和7（2025）年度までに温室効果ガス排出量を37.4%削減（平成25年度比）することを目標としており、より一層の削減に取り組んでまいります。

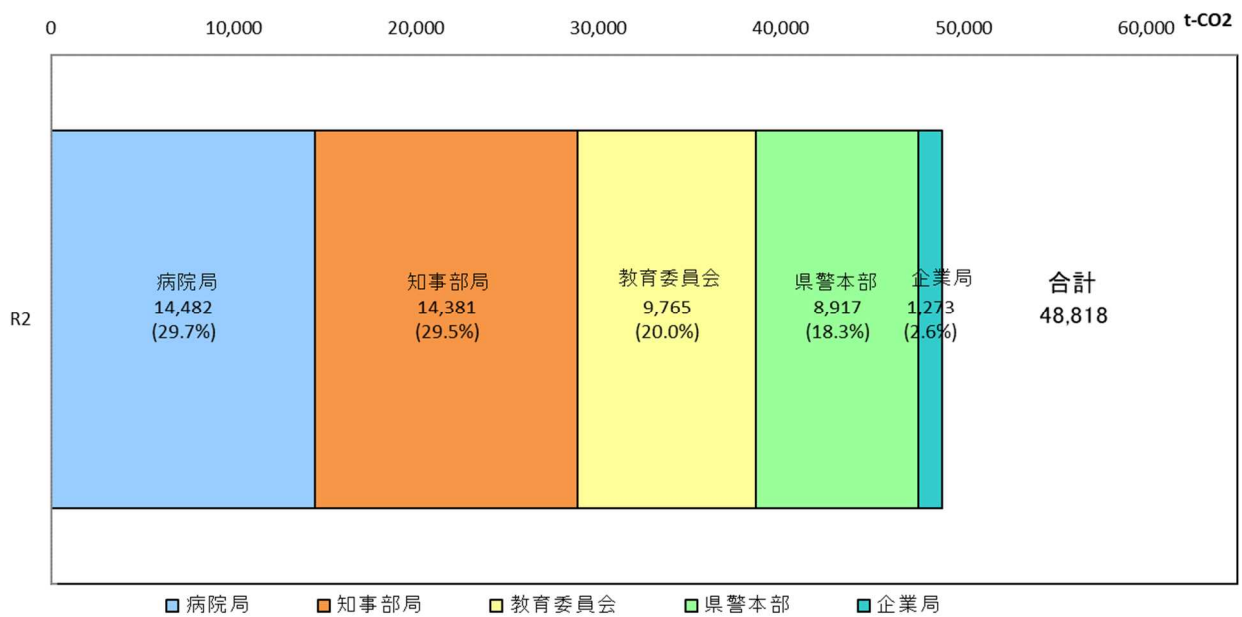
温室効果ガス排出量の推移



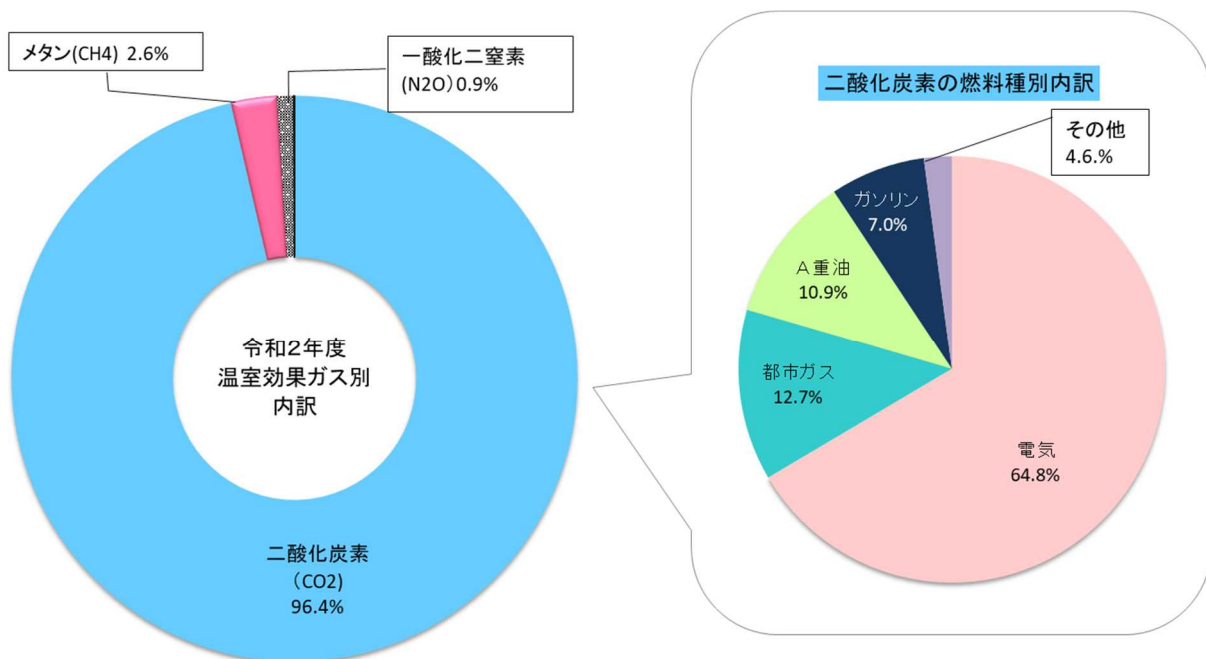
県庁の温室効果ガス排出量

	H25	R1	R2	R7 (第5期目標)
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	77,640	50,873	48,818	48,618
25年度比 (%)	-	△ 34.5	△ 37.1	△ 37.4
前年度比 (%)	-	-	△ 4.0	-

## 2 部局別の温室効果ガス排出量及び割合（令和2年度）



## 3 温室効果ガス別内訳と二酸化炭素の燃料別内訳

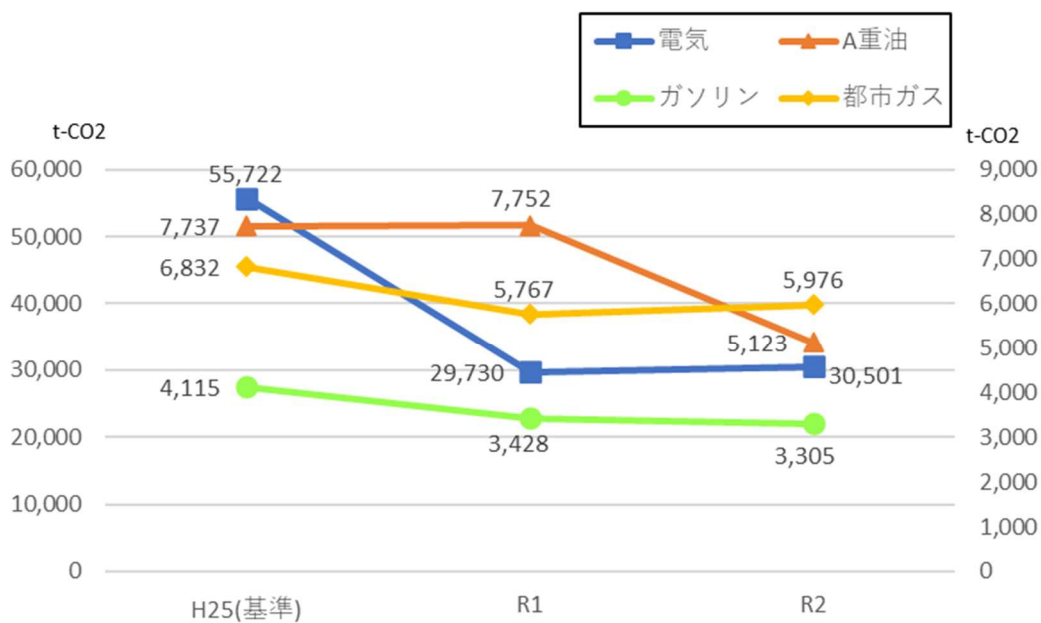


○温室効果ガス排出量のうち、二酸化炭素が全体の約96%を占めています。

○二酸化炭素排出量のうち、約65%が電気の使用に起因しています。

#### 4 二酸化炭素排出量の推移

	排出量(t-CO2)			増減	
	H25(基準)	R1	R2	H25年度比	前年度比
電 気	55,722	29,730	30,501	-45%	3%
都 市 ガ ス	6,832	5,767	5,976	-13%	4%
A 重 油	7,737	7,752	5,123	-34%	-34%
ガ ソ リ ン	4,115	3,428	3,305	-20%	-4%
LP ガ ス	422	715	793	88%	11%
灯 油	740	557	593	-20%	6%
ジェット燃料	0	450	385		-14%
軽 油	618	613	373	-40%	-39%
計	76,186	49,012	47,049	-38%	-4%

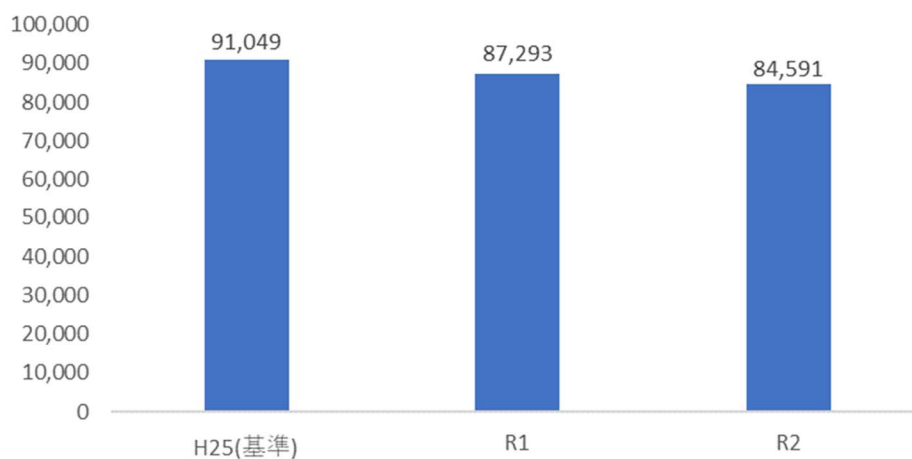


※電気のみ左軸、その他は右軸

## 5 エネルギー使用量の推移

	使用量			増減	
	H25(基準)	R1	R2	H25年度比	前年度比
電気(千kwh)	91,049	87,293	84,591	-7%	-3%
都市ガス(千m3)	3,064	2,597	2,691	-12%	4%
A重油(千L)	2,855	2,860	1,890	-34%	-34%
ガソリン(千L)	1,774	1,478	1,425	-20%	-4%
LPガス(t)	276	238	264	-4%	11%
灯油(千L)	297	224	238	-20%	6%
ジェット燃料	0	183	156		-15%
軽油(千L)	240	157	145	-40%	-8%

電気使用量の推移



- 主な燃料の令和2年度における使用量を前年度と比較すると、都市ガスは増加したものの、電気、重油及びガソリンは減少しました。
- 電気使用量が減少した一方で、二酸化炭素排出量が増加しているのは九州電力の排出係数が前年より微増していることが理由に挙げられます。
- A重油の使用量が大きく減少していますが、新型コロナウイルス感染症により船舶での実習の中止や施設の休業等が要因と考えられます。